○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（拡充を求めるもの）

区分	□ 新　規　　■ 再提案　（25・4・19 第132回総会；駒ケ根市）			
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの※注 □ その他（　　）		分野	□ 総務文教 □ 社会環境 ■ 経済 □ 建設
要望先	□ 国	担当省庁		
	■ 県	担当部局	環境部自然保護課	
	□ その他	名　　称		

件名	９　県立自然公園内における登山道等の維持管理について
提案市	駒ヶ根市
提案要旨	当市の主要な観光資源である「中央アルプス」は、駒ヶ岳ロープウェイ、千畳敷カール等を中心に年間約２５万人の観光客が訪れている。 また近年では登山ブームにより、幅広い客層の方々が訪れ登山者も増加しているところであるが一方で遭難事故なども多発している状況にある。 このような状況の中、登山道の改修や案内看板等の整備が急務な課題となっているが、県として「山の日」を制定するなど山岳観光に重点をおきつつあり、また当地域は県立自然公園でもあることから山岳環境や維持管理に関わる検討も始まっている。 以上を踏まえ、県としての関わりの強化を求めるものである。
提案理由	登山道については、里から稜線（縦走路）までの間は地元自治体が管理しており、国有林許可、県立自然公園許可等を経て改修を実施しているところであるが、厳しい財政難により改修が進んでいない状況にある。 また、縦走路については、多くの自治体に跨っているため、管理者が明確になっていない状態となっている。 このような状況を踏まえ、県立自然公園を指定している県において、縦走路を中心にリーダーシップを発揮いただき、登山道の円滑な維持管理の実施をのぞむものである。
現況及び課題等	１　里から稜線までの登山道は地元自治体において管理しているが、財政難などの理由により整備が遅れている状況にある。 ２　縦走路については、多くの自治体に跨っているため管理者が明確になっておらず、整備が遅れている状況にある。また山域での統一的な看板も無いため、登山客に分かりづらい状況となっている。 ３　県立自然公園である中央アルプス全体におけるルールが曖昧な状況にある。
関係法令	県立自然公園条例など